

農地法第5条第1項の規定による許可申請書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

里庄町農業委員会長 殿

譲受人 氏名 岡山 太郎 (印)

譲渡人 氏名 里庄 一郎 (印)

下記のとおり転用のため農地(採草放牧地)の権利を設定(移転)したいので、農地法第5条第1項の規定により許可を申請します。

記

1 当事者の住所等	当事者の別	氏名	住所		年齢	職業	電話番号				
	譲受人	岡山 太郎	岡山市北区中山下〇〇番地		〇〇	会社員	〇〇-〇〇				
	譲渡人	里庄 一郎	浅口郡里庄町大字〇〇番地		〇〇	農業	〇〇-〇〇				
2 許可を受けようとする土地の所在等	土地の所在	地番	地目		面積	利用状況	10a当たり普通収穫高	所有権以外の使用収益権が設定されている場合		市街化区域・市街化調整区域・その他の区域の別	
			登記簿	現況				権利の種類	権利者の氏名		
	浅口郡里庄町大字〇〇	〇〇	田	田	200㎡	一毛作	450kg			その他の区域	
	浅口郡里庄町大字〇〇	〇〇番〇	田	田	150㎡	一毛作	450kg				
計		350	㎡(田 350	㎡、畑	㎡、採草放牧地	㎡)					
3 転用計画	(1) 転用の目的	住宅用地	(2) 権利を設定し又は移転しようとする理由の詳細		子供の就学を機に、生活の拠点を移すため、自己住宅を建築する						
	(3) 事業の操業期間又は施設の利用期間	〇〇年 〇〇月 〇〇日から 〇〇年間									
	(4) 転用の時期及び転用転用の目的に係る事業又は施設の概要		名称	構造等	棟数	建築面積	所要面積				
		土地造成	/		/	/	350㎡				
		建築物	居宅	木造二階建、瓦ぶき	1棟	100㎡					
工作物		駐車場	3台分								
計	/		/		100	350					
4 権利を設定し又は移転しようとする契約の内容	権利の種類			権利の設定・移転の時期		権利の存続期間		その他			
	所有権移転・賃貸借件設定・使用貸借権設定			平成〇〇年〇〇月		永年					
5 資金調達についての計画	自己資金 (〇〇 万円)			借入金 (〇〇 万円)							
6 付近の農地、作物等の被害の排除施設の概要	排水は公共下水道に排出し、被害のないようにする。										
7 その他参考となるべき事項	建ぺい率 2.4%、造成費の総額 2,900万円、用地購入費の総額 800万円										

(記載要領)

1. 氏名（法人にあってはその代表者の氏名）を自署する場合には、押印を省略することができます。
2. 法人である場合には、「氏名」欄にその名称及び代表者の氏名を、「住所」欄にその主たる事務所の所在地を、「職業」欄にその業務の内容を、それぞれ記載してください。
3. 譲渡人が2人以上である場合には、申請書の差出人は「譲受人何某」及び「譲渡人何某外何名」とし、申請書の1及び2の欄には「別紙記載のとおり」と記載して申請することができるものとします。
4. 「利用状況」欄には、田にあっては二毛作又は一毛作の別、畑にあっては普通畑、果樹園、桑園、茶園、牧草畑又はその他の別、採草放牧地にあっては主な草名又は家畜の種類を記載してください。
5. 「10 a 当たり普通収穫高」欄には、採草放牧地にあっては採草量又は家畜の頭数を記載してください。
6. 「市街化区域・市街化調整区域・その他の区域の別」欄には、申請に係る土地が都市計画法による市街化区域、市街化調整区域又はこれら以外の区域のいずれに含まれているかを記載してください。
7. 申請に係る土地が市街化調整区域内にある場合には、転用行為が都市計画法第29条の開発許可及び同法第43条第1項の建築許可を要しないものであるときはその旨並びに同法第29条及び第43条第1項の該当する号を、転用行為が当該開発許可を要するものであるときはその旨及び同法第34条の該当する号を、転用行為が当該建築許可を要するものであるときはその旨及び建築物が同法第34条第1号から第10号まで又は都市計画法施行令第36条第1項第3号ロからホまでのいずれの建築物に該当するかを、転用行為が開発行為及び建築行為のいずれも伴わないものであるときは、その旨及びその理由を、それぞれ「その他参考となるべき事項」欄に記載してください。

